



2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年1月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員(氏名) 田中 光晴 (TEL) 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 2018年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	12,146	11.8	614	43.2	537	60.2	365	132.2
2017年3月期第3四半期	10,862	△7.2	429	△31.0	335	△35.2	157	△42.8

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 486百万円(79.9%) 2017年3月期第3四半期 270百万円(52.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	65.51	65.22
2017年3月期第3四半期	27.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第3四半期	19,432	7,540	38.2	1,330.91
2017年3月期	18,823	7,130	37.4	1,259.60

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 7,429百万円 2017年3月期 7,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2018年3月期	—	0.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,600	6.7	750	19.6	620	29.6	380	46.9	66.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期3Q	6,006,373株	2017年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2018年3月期3Q	424,092株	2017年3月期	423,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期3Q	5,582,371株	2017年3月期3Q	5,792,434株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済状況は、アジア向けを中心に輸出が回復したことを背景に堅調に推移いたしました。世界経済は、政治・経済情勢の不透明感はあるものの先進国経済や資源国の回復により堅調に推移いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物は、個人消費の伸長や設備投資の拡大基調により、消費関連貨物、生産関連貨物の取扱いが増加いたしました。国際貨物は、世界経済の拡大基調が続く中、アジアを中心に取扱高が増加いたしました。

このような環境の中、当社は、無線通信機器の取扱いが減少したものの、国際航空貨物及び制御システムの新規案件が順調に推移したことに加え、工作機械の取扱いが好調に推移し、売上高は増加いたしました。利益面におきましては、売上高増加の影響のほか、販売費及び一般管理費の増加を抑制できたことにより、営業利益は増加いたしました。

中国連結子会社におきましては、前期に整理した華東地区の子会社2社が連結対象から外れたことにより、売上高は減少いたしました。利益面におきましては赤字子会社2社を整理したことに加え、上海地区子会社におけるスポット案件受注及び工作機械の取扱いが好調に推移したことにより、増加いたしました。

米国子会社におきましては、工作機械の取扱いが引続き好調を維持したことにより、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高121億46百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益6億14百万円(前年同期比43.2%増)、経常利益5億37百万円(前年同期比60.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億65百万円(前年同期比132.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

国際航空貨物及び制御システムの新規案件が大きく寄与したほか、海外子会社の業績が工作機械取扱い増加により引続き好調に推移したことで、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高88億83百万円(前年同期比15.2%増)、セグメント利益9億18百万円(前年同期比21.1%増)となりました。

② 運輸事業部門

無線通信機器の取扱いが減少したものの、医療機器及び国際航空貨物の取扱いが増加したことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高16億94百万円(前年同期比5.2%増)、セグメント利益50百万円(前年同期比34.6%増)となりました。

③ 倉庫事業部門

前期発生したスポット売上がなくなったことに加え、医療機器取扱いが減少したものの、国際航空貨物取扱いにおける新規案件が寄与したことにより、売上高はほぼ前年並となりました。利益面につきましては新規案件の一部計画遅れにより倉庫稼働率が低下し、セグメント利益は減少となりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高13億56百万円(前年同期比0.3%増)、セグメント利益2億50百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

フリーレント期間が終了したことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高2億12百万円(前年同期比11.9%増)、セグメント利益80百万円(前年同期比67.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産194億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ、6億8百万円増加いたしました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、56億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億27百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加2億64百万円、受取手形及び売掛金の増加5億39百万円によるものであります。

固定資産につきましては、137億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億18百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少2億73百万円、リース資産の減少1億71百万円、建設仮勘定の増加1億70百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少23百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加1億60百万円、繰延税金資産の減少33百万円、その他の減少43百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、118億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億98百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、40億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億35百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加2億12百万円、未払法人税等の増加56百万円、賞与引当金の減少1億16百万円、その他流動負債の増加1億42百万円によるものであります。

固定負債につきましては、78億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億37百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の増加55百万円、リース債務の減少1億87百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、75億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億9百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加2億76百万円、その他有価証券評価差額金の増加88百万円、繰延ヘッジ損益の増加20百万円、新株予約権の増加12百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.4%から38.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期通期の連結業績予想につきましては、2017年11月30日公表の業績予想から変更はありません。今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,424,499	1,689,209
受取手形及び売掛金	3,047,473	3,587,188
原材料及び貯蔵品	107,259	144,510
繰延税金資産	110,355	64,032
その他	179,494	210,694
貸倒引当金	△6,000	△5,500
流動資産合計	4,863,083	5,690,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,666,118	7,392,767
機械装置及び運搬具(純額)	86,494	78,396
土地	2,303,455	2,303,455
リース資産(純額)	2,010,548	1,838,987
建設仮勘定	—	170,152
その他(純額)	31,706	39,141
有形固定資産合計	12,098,323	11,822,899
無形固定資産		
ソフトウェア	104,490	81,271
その他	674	594
無形固定資産合計	105,164	81,866
投資その他の資産		
投資有価証券	450,683	611,486
破産更生債権等	8,047	7,837
繰延税金資産	662,528	628,770
その他	640,552	597,128
貸倒引当金	△4,464	△7,837
投資その他の資産合計	1,757,348	1,837,386
固定資産合計	13,960,836	13,742,151
資産合計	18,823,919	19,432,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,547	603,917
短期借入金	1,813,819	2,026,390
リース債務	246,230	251,914
未払法人税等	46,545	103,449
賞与引当金	275,596	159,470
その他	748,314	890,633
流動負債合計	3,700,053	4,035,775
固定負債		
長期借入金	4,535,060	4,590,780
リース債務	1,860,184	1,672,321
退職給付に係る負債	826,544	845,250
資産除去債務	414,947	421,671
長期預り金	207,625	207,318
金利スワップ	148,743	118,531
固定負債合計	7,993,105	7,855,874
負債合計	11,693,159	11,891,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,298,688	2,575,099
自己株式	△208,622	△208,711
株主資本合計	7,055,060	7,331,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,086	242,932
繰延ヘッジ損益	△103,198	△82,237
為替換算調整勘定	△6,478	△2,535
退職給付に係る調整累計額	△67,924	△60,033
その他の包括利益累計額合計	△23,514	98,125
新株予約権	—	12,950
非支配株主持分	99,214	98,179
純資産合計	7,130,760	7,540,637
負債純資産合計	18,823,919	19,432,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	10,862,599	12,146,667
売上原価	8,738,545	9,830,710
売上総利益	2,124,054	2,315,956
販売費及び一般管理費		
販売費	807,889	835,424
一般管理費	886,952	865,900
販売費及び一般管理費合計	1,694,842	1,701,325
営業利益	429,212	614,630
営業外収益		
受取利息	423	210
受取配当金	8,843	9,108
受取保険金	5,781	6,153
その他	4,920	4,730
営業外収益合計	19,968	20,203
営業外費用		
支払利息	113,401	93,375
その他	34	3,609
営業外費用合計	113,436	96,984
経常利益	335,743	537,849
特別利益		
固定資産売却益	105	—
投資有価証券売却益	1,960	12
特別利益合計	2,065	12
特別損失		
関係会社株式売却損	90,971	—
固定資産売却損	3,069	—
投資有価証券売却損	75	—
特別損失合計	94,115	—
税金等調整前四半期純利益	243,694	537,862
法人税、住民税及び事業税	23,450	132,450
法人税等調整額	61,943	40,999
法人税等合計	85,393	173,449
四半期純利益	158,300	364,412
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	786	△1,316
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,514	365,728

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
四半期純利益	158,300	364,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,292	89,127
繰延ヘッジ損益	29,671	20,960
為替換算調整勘定	36,127	3,942
退職給付に係る調整額	8,012	7,890
その他の包括利益合計	112,103	121,921
四半期包括利益	270,404	486,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,723	487,369
非支配株主に係る四半期包括利益	△319	△1,034

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,710,027	1,610,629	1,352,065	189,878	10,862,599	10,862,599
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,233	—	—	3,233	3,233
計	7,710,027	1,613,863	1,352,065	189,878	10,865,833	10,865,833
セグメント利益	758,239	37,655	274,178	48,378	1,118,451	1,118,451

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,118,451
セグメント間取引消去	562
全社費用(注)	△689,802
四半期連結損益計算書の営業利益	429,212

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,883,214	1,694,336	1,356,728	212,386	12,146,667	12,146,667
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,914	—	—	2,914	2,914
計	8,883,214	1,697,250	1,356,728	212,386	12,149,581	12,149,581
セグメント利益	918,211	50,671	250,885	80,876	1,300,644	1,300,644

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,300,644
セグメント間取引消去	310
全社費用(注)	△686,324
四半期連結損益計算書の営業利益	614,630

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。